

令和8年度

# 適性検査 C

注 意

- 1 問題は ① と ② で、4ページにわたって印刷してあります。
- 2 検査時間は45分間です。
- 3 声を出して読むはいけません。
- 4 解答はすべて解答用紙にはっきりと記入し、**解答用紙だけ提出**しなさい。なお、解答を解答用紙に記入するときは、原稿用紙の使い方（ひたし）に従わなくてよいものとします。  
〈記入例〉 次 に         、
- 5 解答を直すときは、きれいに消してから、新しい解答を書きなさい。
- 6 **受検番号**は解答用紙の決められた欄（らん）2か所に必ず記入しなさい。

さいたま市立大宮国際中等教育学校

児童会長の太郎さんは、自転車の交通安全について調べ、発表に向けた準備をしています。

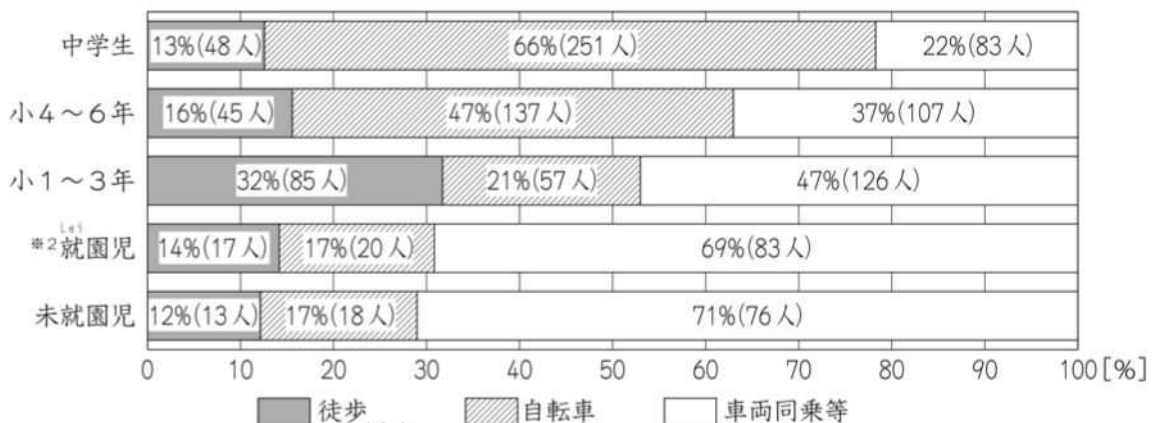
以下の会話を読んで、あとの問いに答えなさい。

- 先生：太郎さん、全校集会に向けた発表原稿の準備はできていますか。
- 太郎さん：はい。私は、全校のみんなに自転車の交通安全について考えてもらう内容にしようと思っています。
- 先生：自転車は、自動車とはちがいで、太郎さんたちのような小学生でも運転ができますからね。自分たちが事故に巻き込まれないため、また事故を起こさないためにも、関心をもっておくべき良いテーマだと思います。どのような内容にする予定ですか。
- 太郎さん：資料1を見てください。これは、中学生以下のこどもが交通事故時にどのような移動手段を使っていたかについての資料です。まず、資料1をもとに、なぜ私が自転車の交通安全についてみんなに考えてもらいたいと思ったのかを説明したいと思います。
- 先生：良い発表の始め方ですね。自分たちに関係のある情報を用いることで、身近なことだと考えてもらえますね。他にはどのようなことを話すのですか。
- 太郎さん：資料2と資料3を見てください。資料2は、自転車の交通ルールを守らない理由についてのアンケート調査の結果です。また、資料3は、自転車に関する過去の交通安全教室の内容で記憶に残っているものとして、アンケートで回答が多かったものです。発表では、資料2から読み取ったことをもとに、資料3から1つ選んだ交通安全教室の内容の良いところを挙げ、良いと考えた理由を述べます。そして、その良いところをふまえ、全校集会において自分たちが自転車事故に巻き込まれないためや起こさないために取り組めること具体的なアイデアを述べようと思っています。
- 先生：なるほど。以前学習した「<sup>※1</sup>自転車安全利用五則」を、交通ルールの一例として参考にしても良いかもしれませんね。良い発表になることを楽しみにしています。

※1 自転車安全利用五則……警視庁の定める自転車を安全に利用するための基本的なルール。

- ①車道が原則、左側を通行 歩道は例外、歩行者を優先 ②交差点では信号と一時停止を守って、安全確認 ③夜間はライトを点灯 ④飲酒運転は禁止 ⑤ヘルメットを着用

#### 資料1 埼玉県内のこども（中学生以下）の交通事故時の移動手段

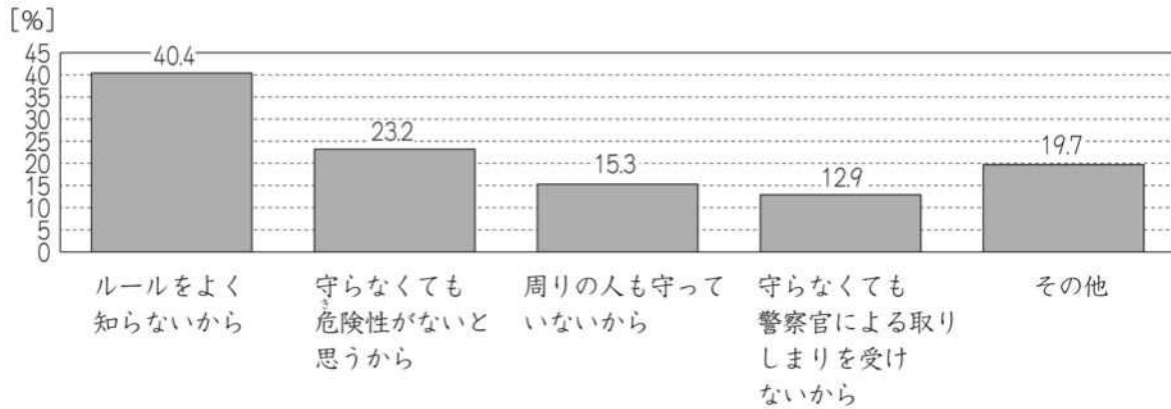


※2 就園……保育園または幼稚園に通うこと。

(注) 四捨五入の関係で割合の合計が100%にならない場合がある。

埼玉県警察本部「交通安全のために～令和6年中の交通事故から～」をもとに作成  
(<https://www.police.pref.saitama.lg.jp/documents/231/anzen.pdf>)

資料2 自転車の交通ルールを守らない理由（複数回答）



資料3 自転車に関する交通安全教室の内容で記憶に残っているもの

● 交通事故や交通ルールの動画を見たこと

●<sup>※3</sup>スタントマンが、交通事故のシーンを再現したこと

●<sup>※4</sup>シミュレータや<sup>※5</sup>VRゴーグル等を用いて交通ルールを学んだこと

※3 スタントマン……危険な場面での演技や再現を行う人。

※4 シミュレータ……実物と同じ条件を再現することで、実験や体験ができる機械。

※5 VRゴーグル……仮想の世界を見たり、体験したりできるゴーグル。

（資料2・資料3は警察庁「自転車の交通ルールに関するアンケート調査 報告書（2023年）」をもとに作成）

問 あなたが太郎さんなら、どのような発表原稿を作成しますか。次の条件に従<sup>したが</sup>って書きなさい。

条件1：解答は横書きで1行目の始めから、段落を分けずに書くこと。

条件2：文章の文字数は、300字程度とすること。

花子さんは、総合的な学習の時間に「挑戦すること」について発表することになり、その準備をしています。

以下の会話文を読んで、あとの問いに答えなさい。

先生：花子さん、発表原稿の準備は進んでいますか。

花子さん：はい。私は、「挑戦すること」について日本の問題点や学校での取り組みについて発表しようと考えています。**資料1**を見てください。これは、「新しいビジネスを始めることが望ましい」と回答した人の割合を国ごとに示したものです。日本は諸外国に比べて、新しい<sup>※1</sup>事業を始める「起業」に対しての意識が低いことがわかります。この結果から、日本では何かに挑戦したい人が少ないのだと考えました。

先生：良いですね。何かに挑戦することはとても難しいことですが、この結果を見ると、日本において何か対策が必要だと感じますね。挑戦することに積極的になりにくいのはなぜだと考えますか。

花子さん：**資料2**を見てください。これは、日本で起業が少ない最大の理由だと思うものについての調査結果です。それぞれの理由は、「挑戦すること」に積極的な人を増やすための解決策を考える手がかりになると思います。これを受けて、参考になりそうな**資料3**、**資料4**、**資料5**を用意しました。

先生：良い分析ですね。それぞれどのような資料なのですか。

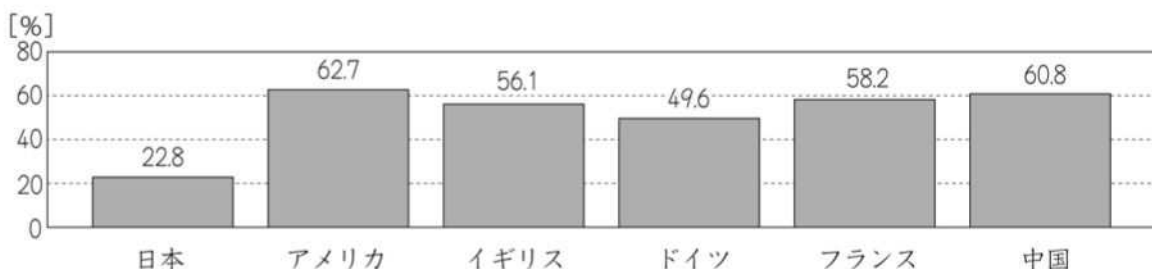
花子さん：**資料3**は、宇宙飛行士の野口聡一さんの著書から、怖さとの向き合い方についての文章を抜き出したものです。**資料4**は、身近な先輩のようにお手本となる人物、いわゆるロールモデルがいることによって期待される効果について、社会人へのアンケート結果を点数化したものです。数値が高いほど、自分の仕事への自信を示す「自己効力感」が高く、また、自分の将来への見通しを示す「キャリア展望」がもっていることを示します。**資料5**は、青少年の自然体験の経験回数と積極性の関係についての調査結果です。自然体験が多い、ふつう、少ないと答えた集団ごとに、積極性が高い人の割合を比べることができます。

先生：なるほど、参考になりそうですね。今回の発表では、聞いた人が「挑戦することに積極的な学校にしたい」と思えるものになると良いですね。どのような発表原稿を作成しますか。

花子さん：発表では、まず、**資料2**から「起業」という挑戦をしないことの原因を1つ示します。次に、**資料3**、**資料4**、**資料5**の中から1つを選び、そこから読み取れることを述べます。さらに、読み取ったことをふまえて、「挑戦すること」に積極的な人を増やすために学校全体で取り組むべきだと思うことを具体的に説明します。

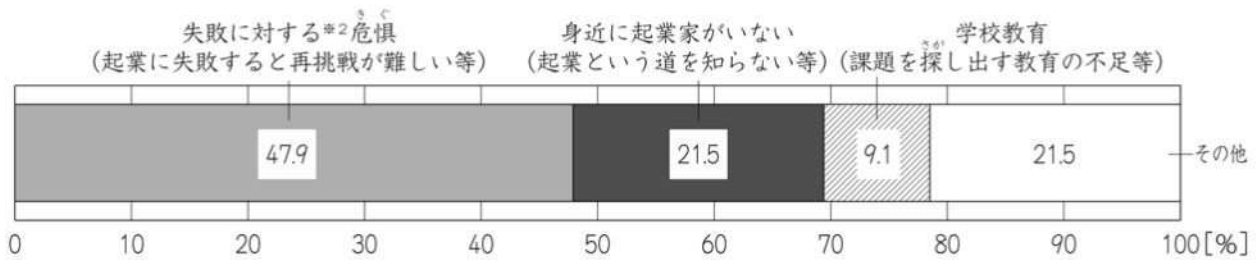
※1 事業……ものを作ったりお金をかせいだりするための活動や、社会的な仕事。

資料1 「新しいビジネスを始めることが望ましい」と回答した人の割合の国際比較



(中小企業庁「小規模企業白書」(2020年版)をもとに作成)

資料2 日本で起業が少ない最大の理由だと思うもの



※2 危惧……心配しておそれること。

(厚生労働省「令和5年版 労働経済の分析—持続的な賃上げに向けて—」をもとに作成)

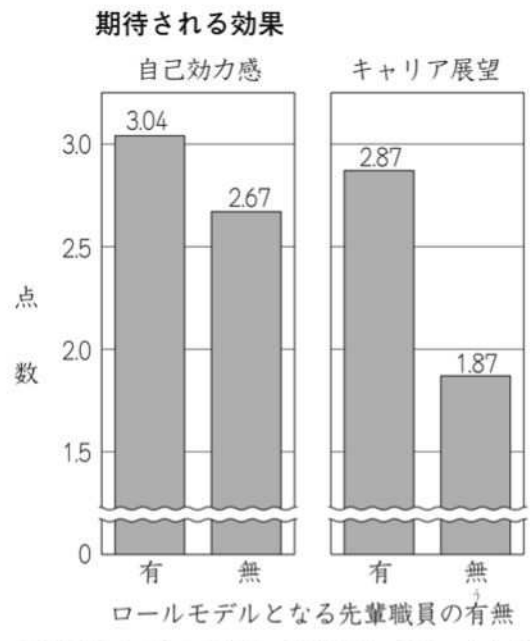
資料3 怖さに負けないためのルール

野口聡一著「15歳の寺子屋 宇宙少年」講談社  
23ページ11行目から24ページ8行目の文章による

著作権法の都合により、掲載できません

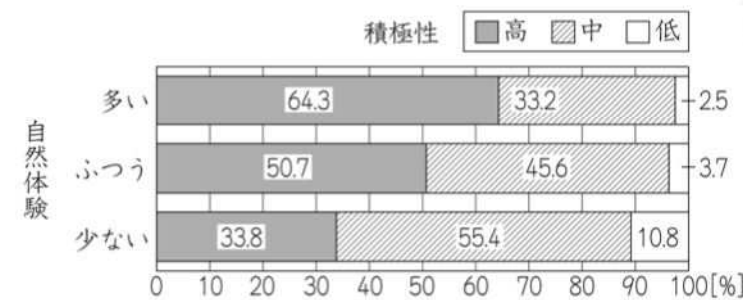
(野口聡一「15歳の寺子屋 宇宙少年」より)

資料4 ロールモデルがいることによって



(厚生労働省「令和元年版 労働経済の分析—人手不足の下での「働き方」をめぐる課題について—」をもとに作成)

資料5 青少年の自然体験と積極性の関係



(注) 自然体験……海や川で泳いだことやキャンプをしたことなどの体験を指す。

(国立青少年教育振興機構「青少年の体験活動等に関する意識調査」(令和4年度調査)をもとに作成)

問 あなたが花子さんなら、どのような発表原稿を作成しますか。次の条件に従って書きなさい。

条件1：解答は横書きで1行目の始めから、段落を分けずに書くこと。

条件2：文章の文字数は、300字程度とすること。

これで、問題は終わりです。